伊万里・有田焼産地のものづくりを伝えるコミュニケーションツール

伝統産業のものづくりを支援する取り組みがグッドデザイン賞 2024 を受賞

浜野　貴晴
promoduction（プロモダクション）代表 ／ 佐賀県窯業技術センター 外部アドバイザー
国立大学法人 佐賀大学 肥前セラミック研究センター 客員研究員 ／ 有田町 クリエイティブアドバイザー

松本 奈緒子
佐賀県窯業技術センター

1. はじめに

伝統文化や技術、職人の手仕事を未来につないでいくことを目指し、開発に制約が多い陶磁器のものづくりに産地内外からもアクセスしやすくするために必要なツールについて、平成27年度から企画・研究をはじめた。伊万里・有田焼の陶磁器の特徴をわかりやすくまとめ、素材の特性の理解を進めるためのサンプル集やアプリの開発を行ってきた。こうした複数の研究成果をまとめたものが、伝統産業のものづくりを支援する取り組みとして、グッドデザイン賞2024を受賞した。

2. 背景

伊万里・有田焼は、日本初の磁器として誕生以来、400年の歴史を誇るやきものである。佐賀県有田町を中心とした産地では、伝統的な絵付けやろくろなどの手仕事の技から、量産のための製造技術まで、豊かな文化と多様な技術を包括した魅力あるものづくりを継承してきた。

しかしながら近年、全国各地の伝統工芸産地と同様、人材不足や後継者不足、売上げの減少、原材料や燃料の高騰が続いており、今後も厳しい状況は続くとみられる。佐賀県窯業技術センターは、佐賀県の陶磁器産地のた

めの研究・支援を行う公的試験研究機関として、約100年前に創設され、これまで産地のものづくりや事業化支援を行ってきた。産地のこれからの100年のために、何が必要か、何ができるか、この産業の魅力をどう今後につなげていくか、私たちにできることを考えている。

3. 経緯

磁器のものづくりには、成形方法、絵付け方法、絵具の色、乾燥や焼成による変化、釉薬の表情等々、その複雑な製造工程において、様々な制約があり、それをわかりやすく伝えるためのサンプル集やツール開発が、ひとつの産地支援になると考えた。

これまで産地内には、伊万里・有田焼の主たる特徴を示す標準化されたサンプルが不在であった。絵の具や釉薬の色味を確認する場合でも、その都度、手元にある既製品の皿などの商品の形状を用いることが多く、アーカイブ化することが考えられていなかった。

そこで、陶磁器に馴染みが薄いエンドユーザーやクリエイターが知りたい情報をリサーチ・整理した上で、伊万里・有田焼の特徴や焼成に伴う変化などの製造工程から発生する事象を抽出、焼成品の「サンプル集」として共通フォーマット化した。

陶磁器用デザインアプリは、伊万里・有田焼にて用いられる無鉛上絵具の色データを搭載することで、カラーチップとして、窯業関係者が開発段階での色検討に使用できるとともに、その色を用いた絵描きや伝統的な絵柄を自由にレイアウトできる機能を有することで、絵付けを楽しく学べるコミュニケーションツールとしてのDX化を目指した。

4. 有田焼サンプルコレクション [1)2)]

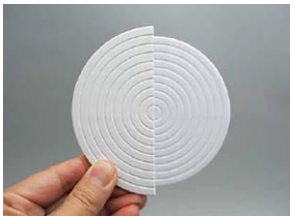
平成27年度より企画、研究をはじめ令和元年度に完成した伊万里・有田焼の主な特徴を示すサンプル集である。

磁器のものづくりには、成形方法、絵付け方法、絵具の色、乾燥や焼成による変化、釉薬の表情等々、その複雑な製造工程において、様々な制約がある。それら伊万里・有田焼の特徴をわかりやすく伝えるための焼成品のサンプル集として製作した。共通フォーマット化することで、伊万里・有田焼についての学び、商品開発や商談の場面で活用できるように心がけた。

サンプル集のデザインコンセプトは「エンドユーザーや産地外のクリエイターが伊万里・有田焼の特徴や表現の多様性の理解から、創作のイメージを膨らませるに至るアイテム」「手元に置いて、見て、触れるサイズ感」「クリエイターのワークスペースに置かれても自然なデザイン・コンシャス性」「詳細を説明するのではなく、直感的に概要がわかるもの」を目指した。サンプルを見ながら話のきっかけを生むような「コミュニケーションツール」として機能することを目的としている。

内容 ： サンプル一式(13枚セット)
下絵具（呉須）/ 上絵具（和絵具）/ 上絵具（洋絵具）/ 白釉対比（透明・マット・ブラスト・無釉）/ 凹凸透明釉 / 凹凸青磁釉 /凹凸飴釉 / 凹凸ルリ釉 / 鎬透明釉 / 鎬青磁釉 / 鎬飴釉 / 鎬ルリ釉 / 焼成収縮
設置場所 ： 佐賀県窯業技術センター、佐賀県陶磁器工業協同組合、佐賀県陶磁器商業協同組合、有田焼卸団地協同組合他

※閲覧のみであり一般への提供は、現在行っていない。



有田焼の色や素材特性など、代表的な特徴を示したサンプル集

5. カラーデータベース・サンプル [3)]

平成30年度に発表した研究に基づき製作した、これまで産地になかった上絵の具全色を網羅するカラーデータベース。商品のデザイン段階や、開発段階、打ち合わせなどの際に、色を探したり、比較検討したりすることを可能

とした。目的の色が見つかれば、産地にある各絵具メーカーで絵具を購入するにあたり、絵具名や番号で色を指定することも容易となる。 また、Adobe Illustratorで絵柄をデザインする際に利用することができるカラースウォッチファイルも提供している。

内容 ： 陶磁器用上絵具のカラーデータベース(冊子・Excelファイル形式データ)、カラーサンプル一式(和絵具・洋絵具 / 無鉛)計121枚、Adobe Illustrator用カラースウォッチファイル
設置場所 ： 佐賀県窯業技術センター、佐賀県陶磁器工業協同組合

※Excelデータ、カラースウォッチファイルは無料で配布。

上絵の具のカラーサンプルとデータベース

6. iroe アプリ[4)5)6)]

令和4年度に研究開発を行い、令和5年4月から提供を開始した陶磁器専用のデザインアプリ。カラーデータベースの色見本を搭載し、さらにその色で絵付けや伝統的な絵柄を自由にレイアウトできる機能も搭載している。窯業関係者が開発段階での色検討やデザインに用いることができ、さらに一般の方やこどもでも、陶磁器や絵付けを楽しむためのエンターテイメント性にも配慮した。

※どなたでもダウンロードして利用可能。

iroe アプリの展開

7. 開発後の反応と今後の展開

これまで産地には、共通の基準やサンプルが無かった「磁器素材の特性」や「絵具の色」について、ひとまとめにしてツール化することで、伊万里・有田焼の特徴の理解を促し、商品開発や商談の場面で活用できるようになった。また、大きな特徴である「色」と「絵付け」を、陶磁器デザインアプリにしたことで、絵付けの伝統文化を窯業関係者だけでなくエンドユーザーとも共有できるようにもなった。デジタルツールのオンライン性を活かすことで、消費地と物理的距離のある地方の伝統技術を年齢を問わず身近なものとし、職人の手仕事の魅力や価値を楽しく、簡便に伝える新しいものづくりのコミュニケーションツールとして活用されはじめている。

グッドデザイン賞の受賞にあたっては、審査委員から「本プロジェクトは、伊万里・有田焼産地の持続可能性を追求する取り組みである。伝統工芸は優れた技術を持つがゆえ、敷居が高いと感じられることが多い。それらを解

消し、魅力を広く伝えるための挑戦的な試みとして評価できる。特に産地共通サンプルが存在しないという課題に対し、デジタル技術を活用して解決策を提案した点は非常に意義深い。これにより伊万里・有田焼の特性が明確に伝わり、伝統工芸の新たな可能性を切り開く一助となるだろう。今後は産地共通フォーマットへの展開や、商品開発に対応できるツールとしてビジネスの実用性に関するアップデートが期待される。他の伝統工芸産地へのモデルケースとなる可能性も秘めており、今後の展開が楽しみである。」(原文そのまま)との評価を得た。

「有田焼サンプルコレクション」は、現在、完成品の閲覧に留まっているが、焼成前の生地を窯元などの作り手が使える産地共通フォーマットへと展開することを目指し、関係者と活用方針について協議している。

「カラーデータベース・サンプル」および「iroeアプリ」についても、さらに収録している絵柄の拡充や、ユーザビリティの向上を目指し、今後もバージョンアップを行うとともに、将来的にはオンラインでの商品開発に活用できるデジタルツールとしていくことを検討している。

8. 特筆すべき成果

- 陶磁器の特徴をわかりやすく伝えるコミュニケーションツールの開発により伝統産業のものづくりをサポート
- 産地内で供用できるデータベースやサンプルの提供による開発のアップグレード化
- 陶磁器のデザインアプリで、産地事業者はもちろん、エンドユーザーとものづくりの豊かさをシェア
- 伝統技術への興味を掘り起こし、陶磁器の購入者から、ものづくりの担い手に至る関係人口の創出・拡大
- グッドデザイン賞の受賞による当該プロジェクトの認知拡大

参考資料

1) 浜野貴晴, 佐賀県窯業技術センター平成27年度研究報告書・支援事業報告書, 37-39 (2016).
2) 浜野貴晴, 佐賀県窯業技術センター平成28年度研究報告書・支援事業報告書, 24-27 (2017).
3) 松本奈緒子他, 佐賀県窯業技術センター平成30年度研究報告書・支援事業報告書, 6-10 (2019).
4) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和4年度研究報告書・支援事業報告書, 12-14 (2023).
5) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和5年度研究報告書・支援事業報告書, 23-25 (2024).
6) iroe 公式ウェブサイト https://saga-iroe.jp/ (参照 2025-03-31).